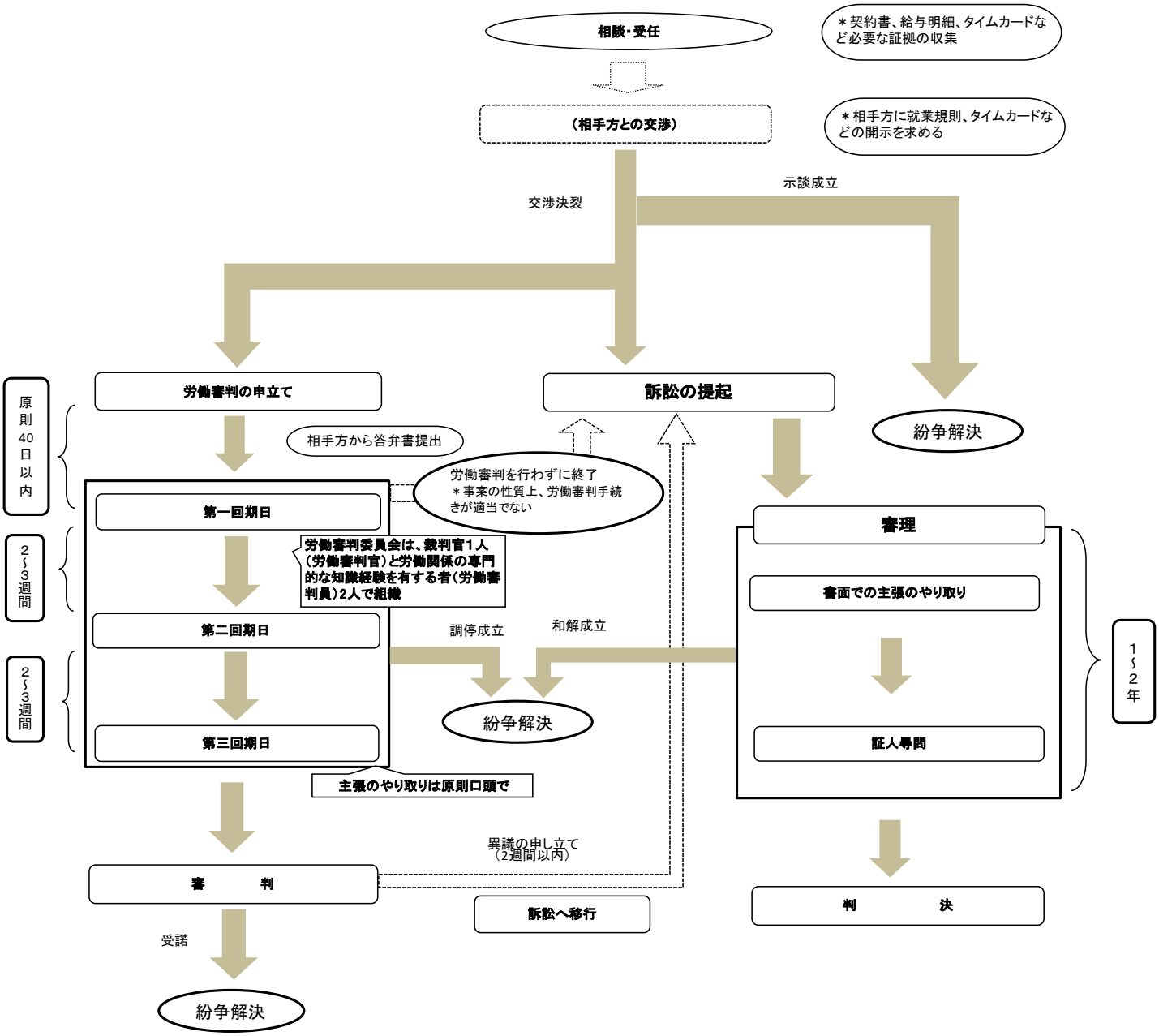
解決までの流れ


相談・受任
＊契約書、給与明細、タイムカードなど必要な証拠の収集
（相手方との交渉）
＊相手方に就業規則、タイムカードなどの開示を求める
交渉決裂
示談成立
労働審判の申立て
訴訟の提起
紛争解決
原則40日以内
相手方から答弁書提出
労働審判を行わずに終了
＊事案の性質上、労働審判手続きが適当でない
第一回期日
2～3週間
労働審判委員会は、裁判官1人（労働審判官）と労働関係の専門的な知識経験を有する者（労働審判員）2人で組織
第二回期日
調停成立
和解成立
2～3週間
紛争解決
第三回期日
主張のやり取りは原則口頭で
審理
書面での主張のやり取り
証人尋問
1～2年
異議の申し立て（2週間以内）
審　　判
訴訟へ移行
判　　決
受諾
紛争解決